

第1回 岩倉市都市計画マスタープラン中間見直しに関する検討委員会（参考資料）

（1）地域別構想の都市づくりの方針に関連する施策の進捗状況		1
1）北部地域		1
2）中部地域		3
3）南部地域		5
（2）くらしの利便性（鉄道駅の利便性と周辺のポテンシャル）		7
（3）くらしの利便性・快適性、都市インフラの整備状況（施設や幹線道路の立地状況）		8
（4）都市インフラの整備状況（下水道の整備状況）		9
（5）災害からの安全性		10
1）洪水ハザードマップ 計画規模（L1）		10
2）洪水ハザードマップ 想定最大規模（L2）		11
3）内水ハザードマップ 計画規模（L1）		12
4）内水ハザードマップ 想定最大規模（L2）		13

(1) 地域別構想の都市づくりの方針に関連する施策の進捗状況

1) 北部地域

北部地域					
NO.	分野	現行計画の都市づくりの方針 関連ページ41～53	進捗状況	実施した事業・施策	今後、実施予定の事業・施策
北-1	土地利用	農地における計画的な土地利用調整を図り、無秩序な開発抑制に努めます。	実施中	農地転用について、許可条件をもとに適切な審査を行った。申請ごとに常時実施。	
北-2	土地利用	鉄道利用者及び徒歩圏での都市的利便性(駐輪、停車機能、商業機能)の向上を図ります。	実施済	名鉄石仏駅等整備事業(R1～R5) 名鉄石仏駅東改札口、東側駅前広場の整備、公衆便所の設置、アクセス道路の改良	
北-3	土地利用	人口密度、市街化の状況などを勘案して、住居系市街地として計画的な整備について検討を行います。	実施中	住民説明会、アンケートを実施(R3) (賛同得られず)	都市計画マスタープランの中間見直しで新たな候補地を検討
北-4	土地利用	新たな産業系の市街地の拡大を検討します。	実施中	民間開発事業者より都市計画提案制度の事前相談の提出あり(R6)	市街化編入の検討、関係機関協議
北-5	市街地整備	歩車分離や防護柵などの整備を進め、歩行者や自転車利用者の安全を強化します。	実施済	市道小口岩倉線における交通安全対策(R6) 区画線の設置やポストコーンの設置により通行車両のスピード抑制対策を行い、歩行者や自転車利用者の安全を強化した。	
北-6	交通施設等整備	スマートインターチェンジの設置を検討します。	実施済	スマートインター整備事業(R5～) 令和6年9月に準備段階調査着手。 早期事業化に向け検討中。	
北-7	交通施設等整備	隣接市と連携を図りながら都市計画道路の整備の推進に努めます。	検討中	(都)江南岩倉線の一部については、愛知県にて整備に向けて検討中。(R5～) (都)一宮春日井線については、中断中。	
北-8	公園緑地の整備	石仏スポーツ広場を石仏公園として整備し、機能の充実を図ります。	実施中	石仏公園整備事業(R6～) 令和6年度より整備工事着手。	
北-9	自然環境の保全及び都市環境形成	五条川や八剱憩いの広場などの公園をつなぐ道路や民有地などの緑化に努め、生態系ネットワークの形成に努めます。	実施中	保護樹指定事業(通年) 公共緑化事業(通年) 尾北自然歩道施設管理費、実施年度(通年) 五条川桜並木保全事業、実施年度(通年) 五条川沿いの桜並木や尾北自然歩道に隣接している休憩所にある植栽を適正に管理することで、緑化の維持に努め、生態系ネットワークの形成に努めている。	
北-10	河川、下水道の整備	五条川右岸地域の下水道未整備地区については、公共下水道整備を推進します。	実施中	石仏町及び神野町の公共下水道を整備した、実施年度(R3～R6)	引き続き石仏町及び神野町の公共下水道を整備予定。
北-11	都市景観形成	桜並木とともにうるおいをもたらす河川環境と調和した市街地景観の形成に努めます。	実施中	五条川桜並木保全事業、実施年度(通年) 五条川沿いにある桜並木を市民団体(岩倉五条川桜並木保存会)と協働で管理することで、市街地景観の形成に努めている。	
北-12	都市防災	雨水貯留浸透施設の整備を促進するとともに、保水機能を有する農地の保全に努めます。	実施中	農地転用について、許可条件をもとに適切な審査を行った。申請ごとに常時実施。	
北-13	都市防災	耐震補強や空き家対策を促進するとともに、建物更新時にあわせて区画道路の拡幅によって、防災機能の強化に努めます。	実施中	耐震対策費(通年)	



2) 中部地域

中部地域					
NO.	分野	現行計画の都市づくりの方針 関連ページ55～67	進捗状況	実施した事業・施策	今後、実施予定の事業・施策
中-1	土地利用	空き家、空き店舗対策により、中心市街地としての機能の維持と充実に努めます。	実施中	空き家等対策事業（通年）	
中-2	土地利用	農地における計画的な土地利用調整を図り、無秩序な開発抑制に努めます。	実施中	農地転用について、許可条件をもとに適切な審査を行った。申請ごとに常時実施。	
中-3	土地利用	商業・業務をはじめとする都市機能の継続的な集積に向けた政策展開を検討します。	検討中		
中-4	市街地整備	都市計画道路や（仮称）にぎわい広場の整備を推進し、市街地整備の一体的な事業を検討します。	実施中	「（仮称）にぎわい広場整備基本構想」を策定（R4） 桜通線道路改良事業（R4～） 令和4年度から（都）路桜通線の道路改良工事及び電線共同溝工事を実施し、一部整備が完了した。	
中-5	交通施設等整備	（都）桜通線については、オープンカフェやイベント等の活用により、楽しく安全な道路空間の創出に努めます。	実施中	桜通線道路改良事業（R4～）	
中-6	公園緑地の整備	（仮称）にぎわい広場として整備し、機能の強化を図ります。	検討中	「（仮称）にぎわい広場整備基本構想」を策定（R4）	
中-7	自然環境の保全及び都市環境形成	五条川やお祭り広場などの公園をつなぐ道路や民有地などの緑化に努め、生態系ネットワークの形成に努めます。	実施中	保護樹指定事業（通年） 公共緑化事業（通年） 花のあるまちづくり事業（通年） 尾北自然歩道施設管理費、実施年度（通年） 五条川桜並木保全事業、実施年度（通年） 五条川沿いの桜並木や尾北自然歩道に隣接している休憩所にある植栽を適正に管理することで、緑化の維持に努め、生態系ネットワークの形成に努めている。	
中-8	河川、下水道の整備	都市公園等の地下に調整池を整備し、河川への負担軽減を図ります。	実施中	岩倉市下水道（雨水）整備計画、実施年度（R4～R6（大矢公園）） 大矢公園の敷地内に調整池を設置し、R7から供用開始した。	岩倉市下水道（雨水）整備計画に基づき、岩倉駅東地区、中央公園、岩倉中学校の調整池を設置する計画。
中-9	都市景観形成	拠点地区にふさわしいシンボリックな景観形成に努め、ユニバーサルデザインの導入を推進します。	実施中	桜通線道路改良事業（R4～） 愛知県による（都）萩原多気線の整備（H29～） 各道路の整備に伴い、歩行空間のユニバーサルデザインを導入	
中-10	都市防災	雨水貯留浸透施設の整備を促進するとともに、保水機能を有する農地の保全に努めます。	実施中	岩倉市下水道（雨水）整備計画、実施年度：R4～R6（大矢公園） 大矢公園の敷地内に調整池を設置し、R7から供用開始した。 農地転用について、許可条件をもとに適切な審査を行った。申請ごとに常時実施。	岩倉市下水道（雨水）整備計画に基づき、岩倉駅東地区、中央公園、岩倉中学校の調整池を設置する計画。
中-11	都市防災	耐震補強や空き家対策を促進するとともに、建物更新時にあわせて区画道路の拡幅によって、防災機能の強化に努めます。	実施中	耐震対策費（通年）	



中-9 都市景観形成 実施中

拠点地区にふさわしいシンボリックな景観形成に努め、ユニバーサルデザインの導入を推進します。

中-7 自然環境の保全及び都市環境形成 実施中

五条川やお祭り広場などの公園をつなぐ道路や民有地などの緑化に努め、生態系ネットワークの形成に努めます。

中-10 都市防災 実施中

雨水貯留浸透施設の整備を促進するとともに、保水機能を有する農地の保全に努めます。

中-11 都市防災 実施中

耐震補強や空き家対策を促進するとともに、建物更新時にあわせて区画道路の拡幅によって、防災機能の強化に努めます。

中-1 土地利用 実施中

空き家、空き店舗対策により、中心市街地としての機能の維持と充実を図ります。

中-2 土地利用 実施中

農地における計画的な土地利用調整を図り、無秩序な開発抑制に努めます。

中-3 土地利用 検討中

商業・業務をはじめとする都市機能の継続的な集積に向けた政策展開を検討します。

中-8 河川・下水道の整備 実施中

都市公園等の地下に調整池を整備し、河川への負担軽減を図ります。

中-5 交通施設等整備 実施中

(都)桜通線については、オープンカフェやイベント等の活用により、楽しく安全な道路空間の創出に努めます。

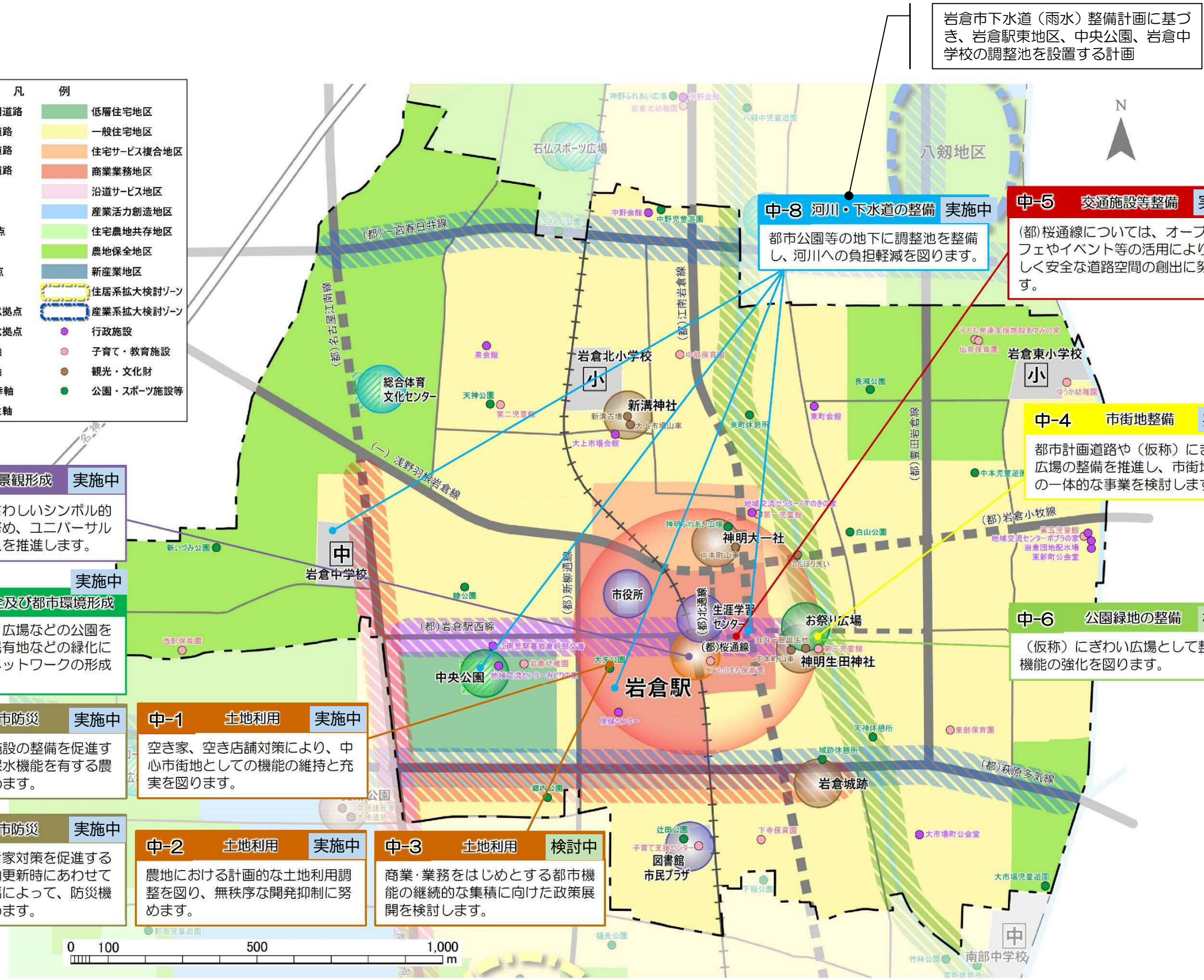
中-4 市街地整備 実施中

都市計画道路や(仮称)にぎわい広場の整備を推進し、市街地整備の一体的な事業を検討します。

中-6 公園緑地の整備 検討中

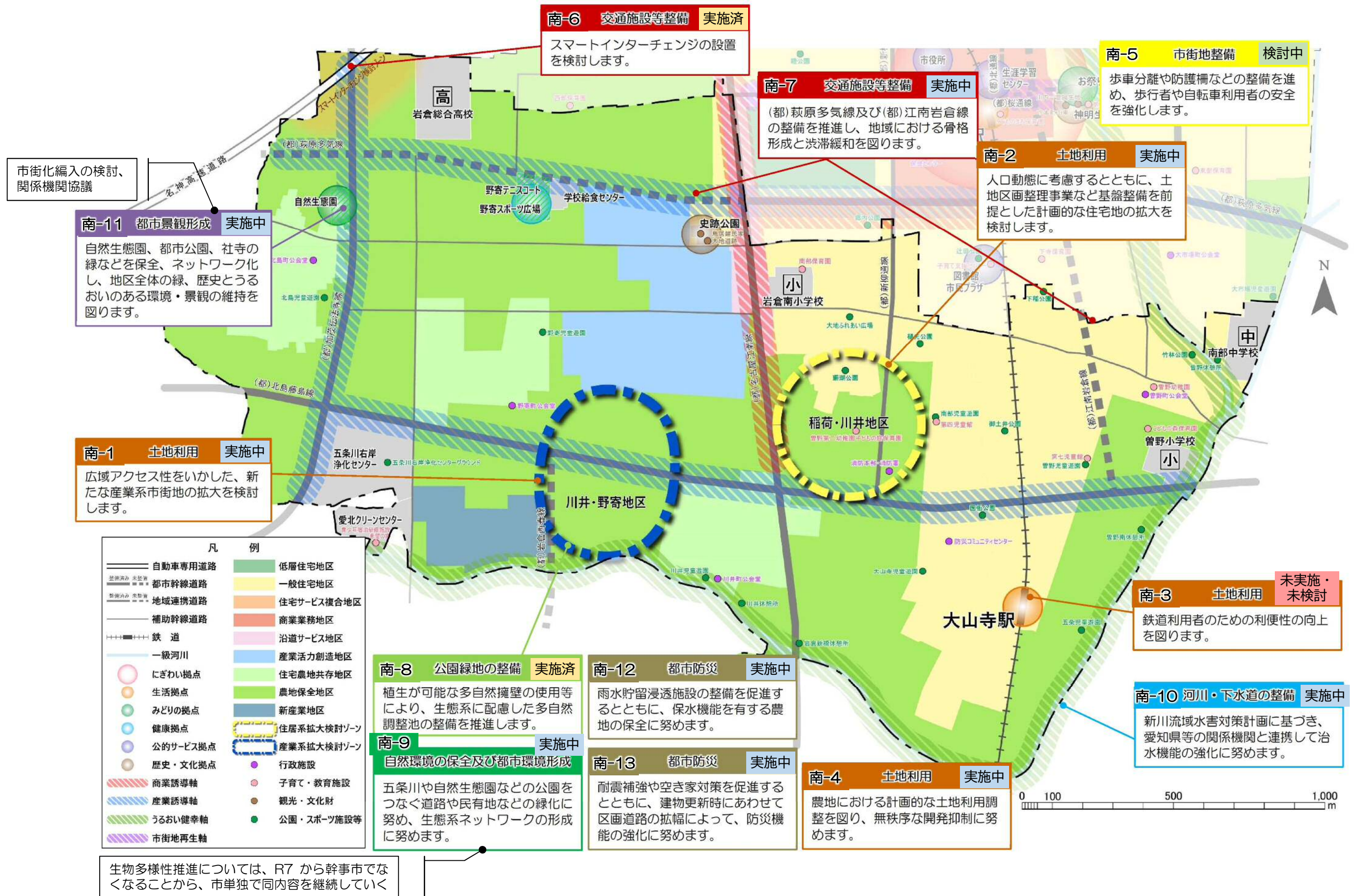
(仮称)にぎわい広場として整備し、機能の強化を図ります。

岩倉市下水道(雨水)整備計画に基づき、岩倉駅東地区、中央公園、岩倉中学校の調整池を設置する計画



3) 南部地域

南部地域					
NO.	分野	現行計画の都市づくりの方針 関連ページ69～81	進捗状況	実施した事業・施策	今後、実施予定の事業・施策
南-1	土地利用	広域アクセス性をいかした、新たな産業系市街地の拡大を検討します。	実施中	民間開発事業者より都市計画提案書の提出あり(R6)	市街化編入の検討、関係機関協議
南-2	土地利用	人口動態に考慮するとともに、土地区画整理事業など基盤整備を前提とした計画的な住宅地の拡大を検討します。	実施中	土地所有者の意向を確認しながら整備手法を含め検討	
南-3	土地利用	鉄道利用者のための利便性の向上を図ります。	未実施・未検討		
南-4	土地利用	農地における計画的な土地利用調整を図り、無秩序な開発抑制に努めます。	実施中	農地転用について、許可条件をもとに適切な審査を行った。申請ごとに常時実施。	
南-5	市街地整備	歩車分離や防護柵などの整備を進め、歩行者や自転車利用者の安全を強化します。	検討中		
南-6	交通施設等整備	スマートインターチェンジの設置を検討します。	実施済	スマートインター整備事業(R5～) 令和6年9月に準備段階調査着手。 早期事業化に向け検討中。	
南-7	交通施設等整備	(都)萩原多気線及び(都)江南岩倉線の整備を推進し、地域における骨格形成と渋滞緩和を図ります。	実施中	愛知県による(都)萩原多気線の整備を実施(H29～)	
南-8	公園緑地の整備	植生が可能な多自然擁壁の使用等により、生態系に配慮した多自然調整池の整備を推進します。	実施済	川井野寄工業団地内に多自然調整池を設置(R4)	
南-9	自然環境の保全及び都市環境形成	五条川や自然生態園などの公園をつなぐ道路や民有地などの緑化に努め、生態系ネットワークの形成に努めます。	実施中	愛知県の五条川右岸堤防道路整備事業に合わせて、親水性護岸や桜の植樹を検討 尾北自然歩道施設管理費、実施年度(通年) 五条川桜並木保全事業、実施年度(通年) 五条川沿いの桜並木や尾北自然歩道に隣接している休憩所にある植栽を適正に管理することで、緑化の維持に努め、生態系ネットワークの形成に努めている。 生物多様性推進事業、実施年度(R5～) R5・6は、企業や行政・各種団体等、約50の団体で組織される尾張西部生態系ネットワーク協議会の幹事市だったこともあり、協議会メンバーと共に、川井野寄工業団地調整池周辺緑地の一部で、在来種の種まきや外来種の駆除を行った。	生物多様性推進事業については、R7から幹事市でなくなることから、市単独で同内容を継続していく。
南-10	河川、下水道の整備	新川流域水害対策計画に基づき、愛知県等の関係機関と連携して治水機能の強化に努めます。	実施中	市のイベント等で、流域治水啓発活動を行った、直近実施年度:R5	
南-11	都市景観形成	自然生態園、都市公園、社寺の緑などを保全、ネットワーク化し、地区全体の緑、歴史とつながりのある環境・景観の維持を図ります。	実施中	保護樹指定事業(通年)	
南-12	都市防災	雨水貯留浸透施設の整備を促進するとともに、保水機能を有する農地の保全に努めます。	実施中	農地転用について、許可条件をもとに適切な審査を行った。申請ごとに常時実施。	
南-13	都市防災	耐震補強や空き家対策を促進するとともに、建物更新時にあわせて区画道路の拡幅によって、防災機能の強化に努めます。	実施中	耐震対策費(通年)	

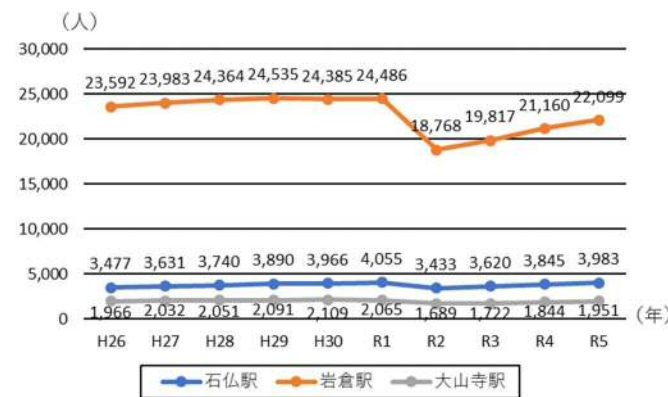


(2) 暮らしの利便性（鉄道駅の利便性と周辺のポテンシャル）

- ・岩倉市内には石仏駅、岩倉駅、大山寺駅の3つの鉄道駅がある。最も利便性が高いのは岩倉駅であり、鉄道運行便数は、石仏駅と大山寺駅の2倍以上であり、日乗降客数も最も多くなっている。
- ・鉄道駅から1km圏域の新築数（建物数）は、岩倉駅周辺が593件と最も多く、石仏駅、大山寺駅周辺の新築数の合計（510件）よりも多くなっている。
- ・岩倉市の人口は、主に中部地域に集中しており、北部地域と南部地域では鉄道沿線上で人口が多くなっている。また、南部地域の西部では、人口密度が20人/ha未満のメッシュが広く分布している。
- ・平成27年度から令和2年度にかけて、鉄道沿線上や市の北部、南西部で人口が増加傾向となっているが、中部地域では60人以上減少しているメッシュも多くみられる。
- ・地域別の人口、世帯数は、令和2年度から令和6年度にかけて、いずれの地域も世帯数は増加傾向であるが、人口は減少傾向となっている。

岩倉市内の鉄道駅の利便性

■運行便数（平日/名古屋方面）				
駅名	石仏駅	岩倉駅	大山寺駅	
運行便数	μスカイ	—	11便	—
	特急	—	30便	—
	快速急行	—	2便	—
	急行	—	43便	—
	準急	30便	30便	—
	普通	43便	92便	92便
所要時間（上小田井まで：7時台）				
	16分	7分	10分	



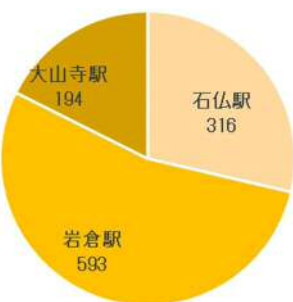
■日乗降客数の推移

資料：名古屋鉄道 HP（R7.5 現在）

資料：いわくらの統計

岩倉市内の鉄道駅周辺のポテンシャル（新築数）

駅周辺（1km圏域）の新築数

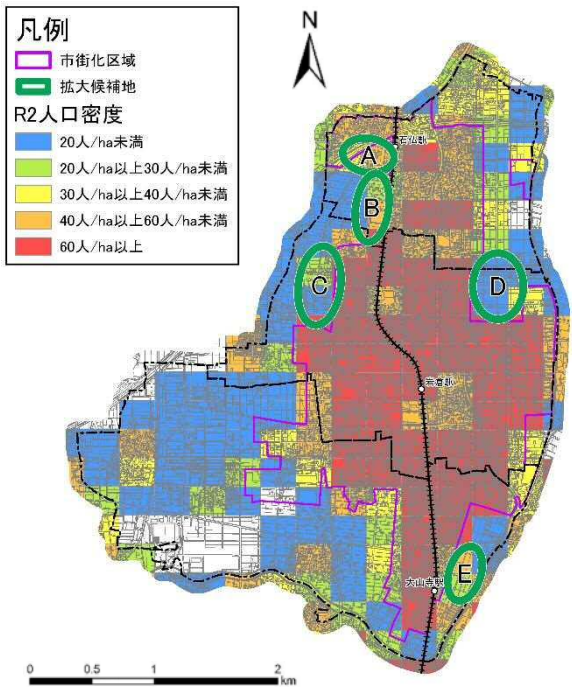


※調査期間：平成29年1月1日～令和3年12月31日

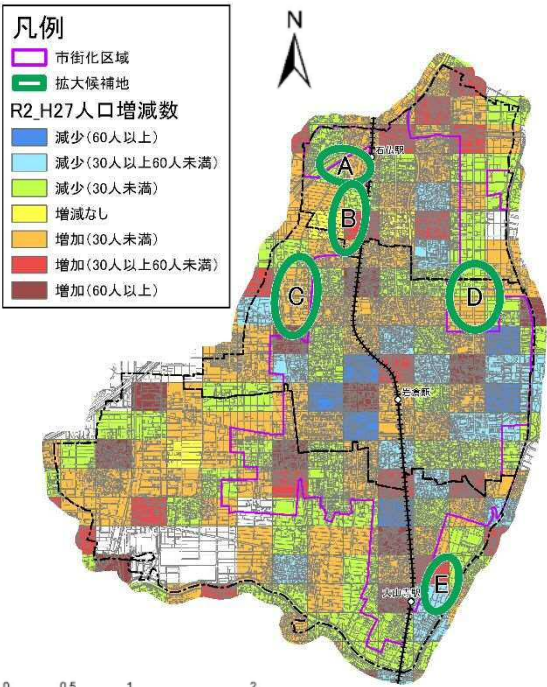
■岩倉市内の鉄道駅周辺の新築数（建物数）

資料：都市計画基礎調査（R4）

岩倉市内の人口・世帯数

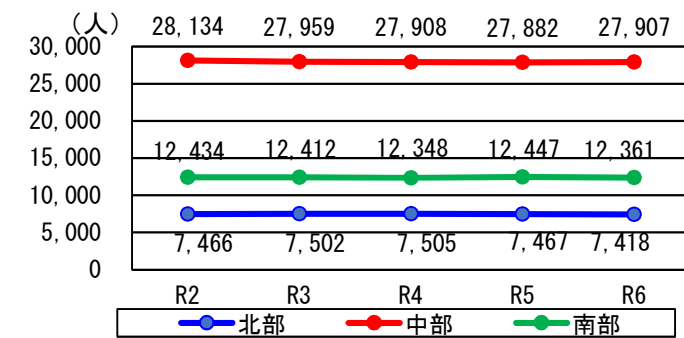


■人口密度（R2）

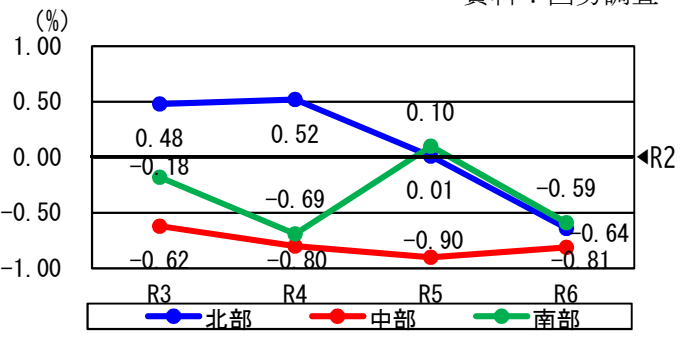


■人口増減数（R2-H27）

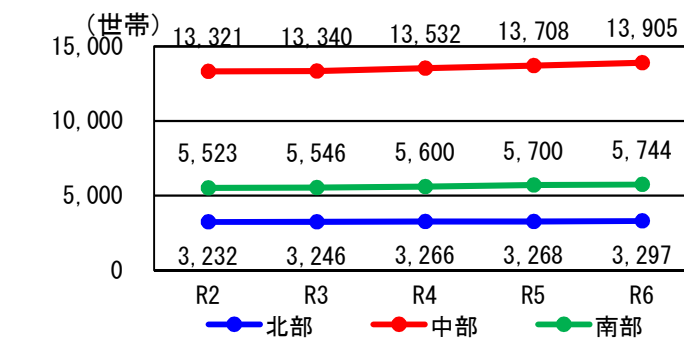
資料：国勢調査



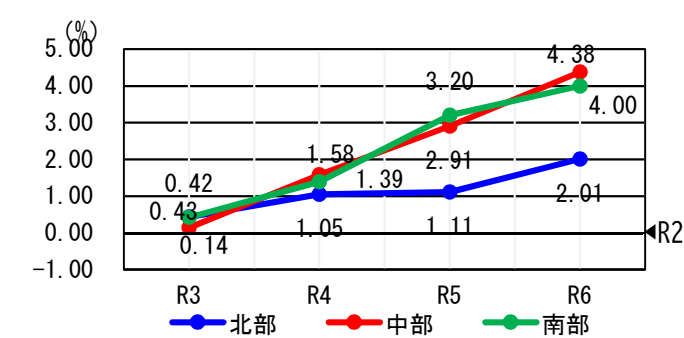
■地域別人口の推移



■地域別人口の増加率（対 R2）



■地域別世帯数の推移



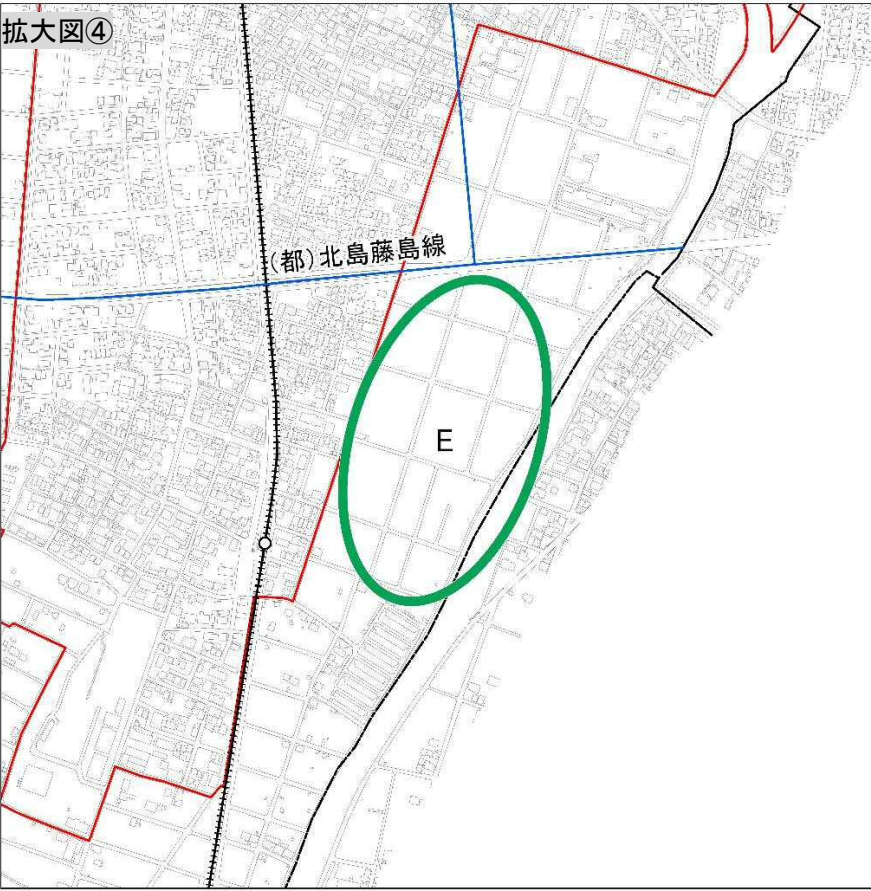
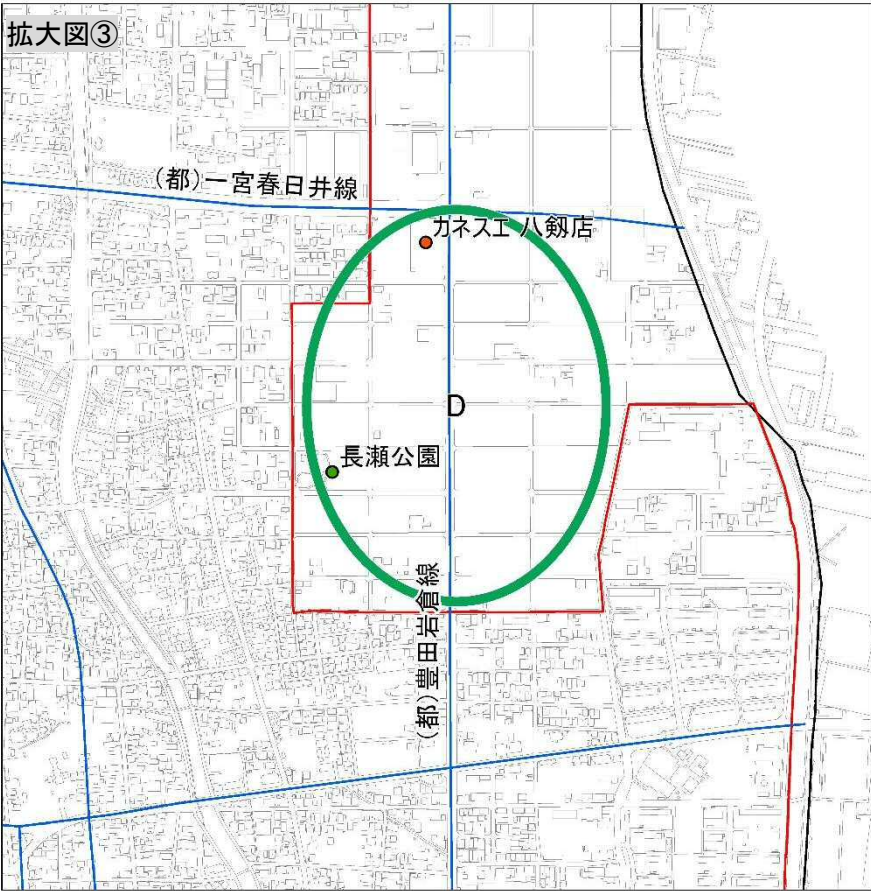
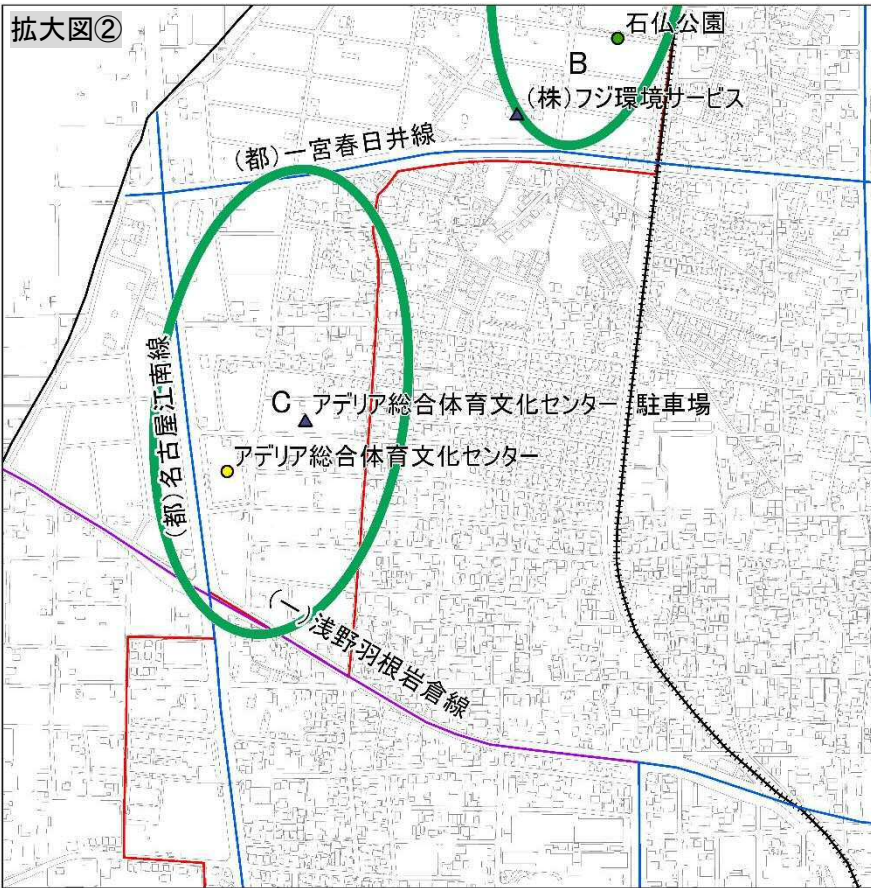
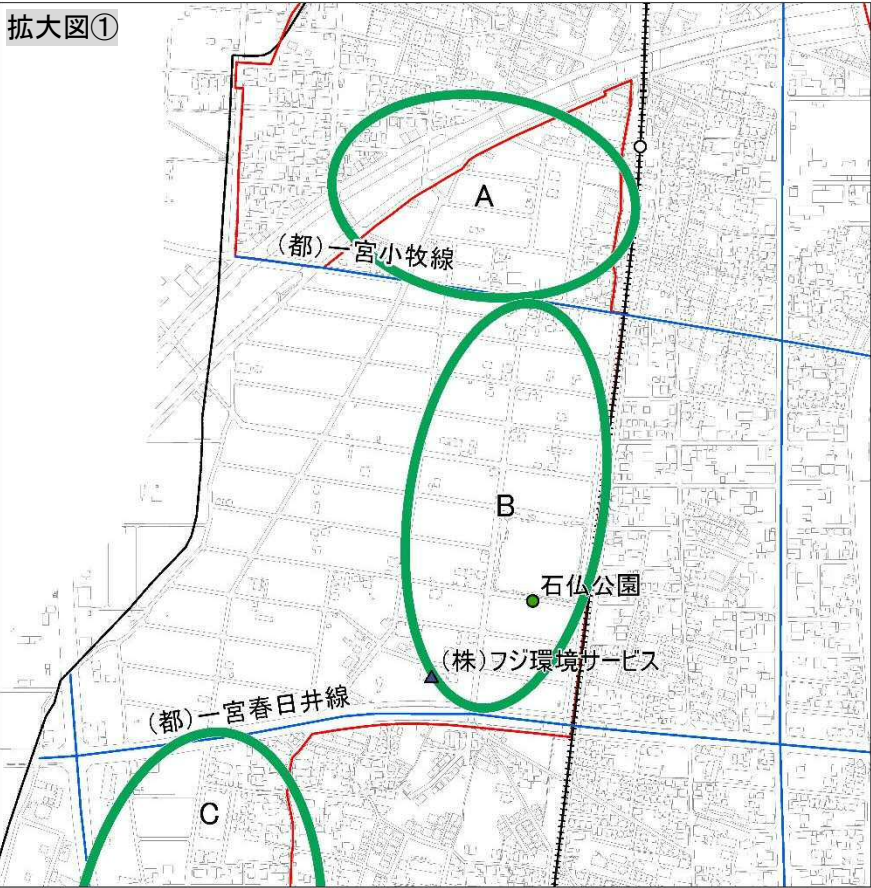
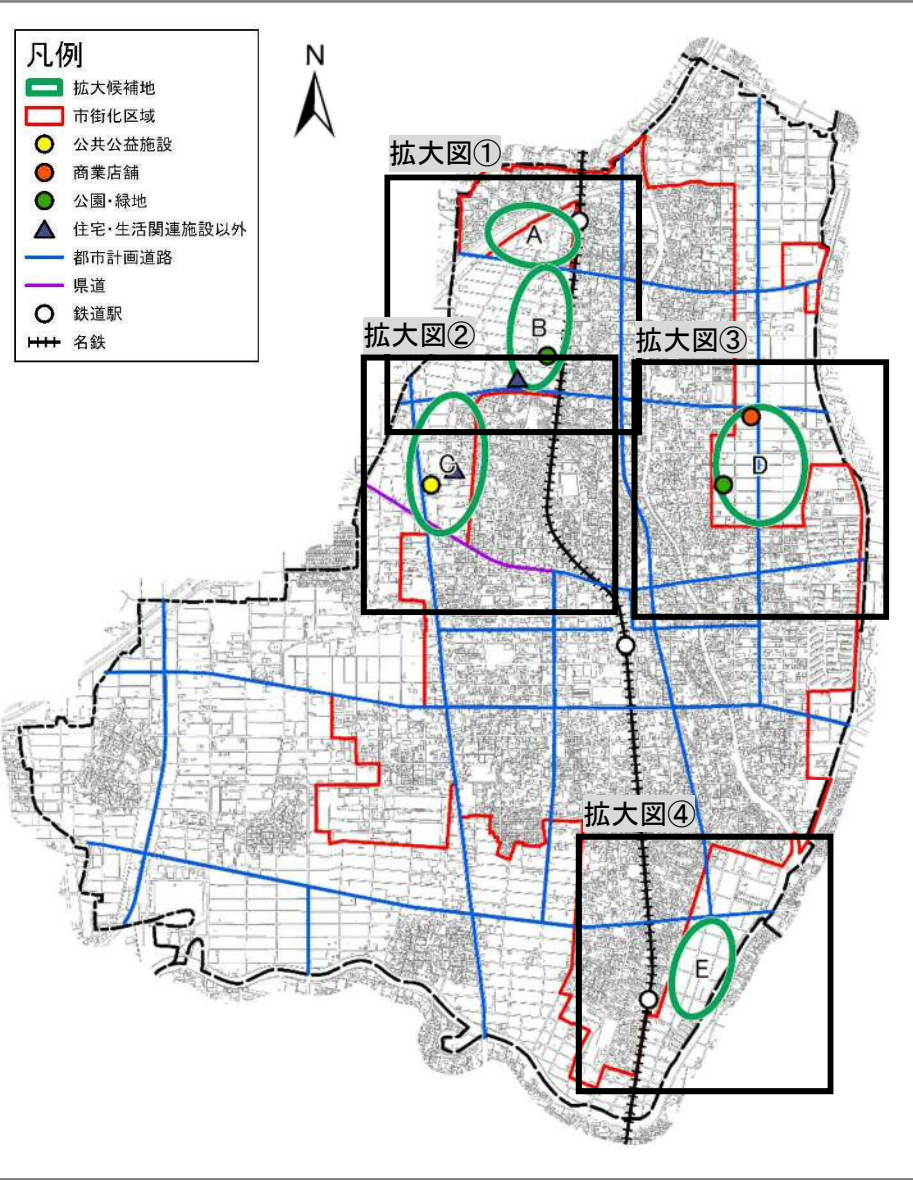
資料：国勢調査、住民基本台帳

※R2は国勢調査、R3～R6は住民基本台帳の各年10月1日時点の推移の増減率を国勢調査のR2数値に乗じて算出

※住民基本台帳の地域整理において、北部地域と中部地域にまたがる「中野町」については、中部地域の扱いとして整理

(3) 暮らしの利便性・快適性、都市インフラの整備状況（施設や幹線道路の立地状況）

- ・拡大候補地 A では、一宮小牧線へ接続しているが、生活施設や公園・緑地は立地していない。
- ・拡大候補地 B では、一宮小牧線、一宮春日井線へ接続しており、石仏公園も立地しているが、小規模事業者（株）フジ環境サービスの混在がみられる。
- ・拡大候補地 C では、名古屋江南線、一宮春日井線、浅野羽根岩倉線へ接続しており、アデリア総合体育文化センターも立地しているが、広域な駐車場が混在している。
- ・拡大候補地 D では、一宮春日井線、豊田岩倉線へ接続しており、カネスエ八剱店や長瀬公園が立地している。
- ・拡大候補地 E では、北島藤島線へ接続しているが、生活施設や公園・緑地は立地していない。



(4) 都市インフラの整備状況（下水道の整備状況）

- ・ 拡大候補地周辺の下水道の整備状況は以下のとおりである。
拡大候補地 A：令和8年度以降に整備を予定しているエリアに隣接しているが、整備済みのエリアには隣接していない。
拡大候補地 B：整備済みのエリアに隣接している。
拡大候補地 C：整備済みのエリアに隣接している。
拡大候補地 D：整備済みのエリアに隣接している。
拡大候補地 E：整備済みのエリアに隣接していない。

凡例

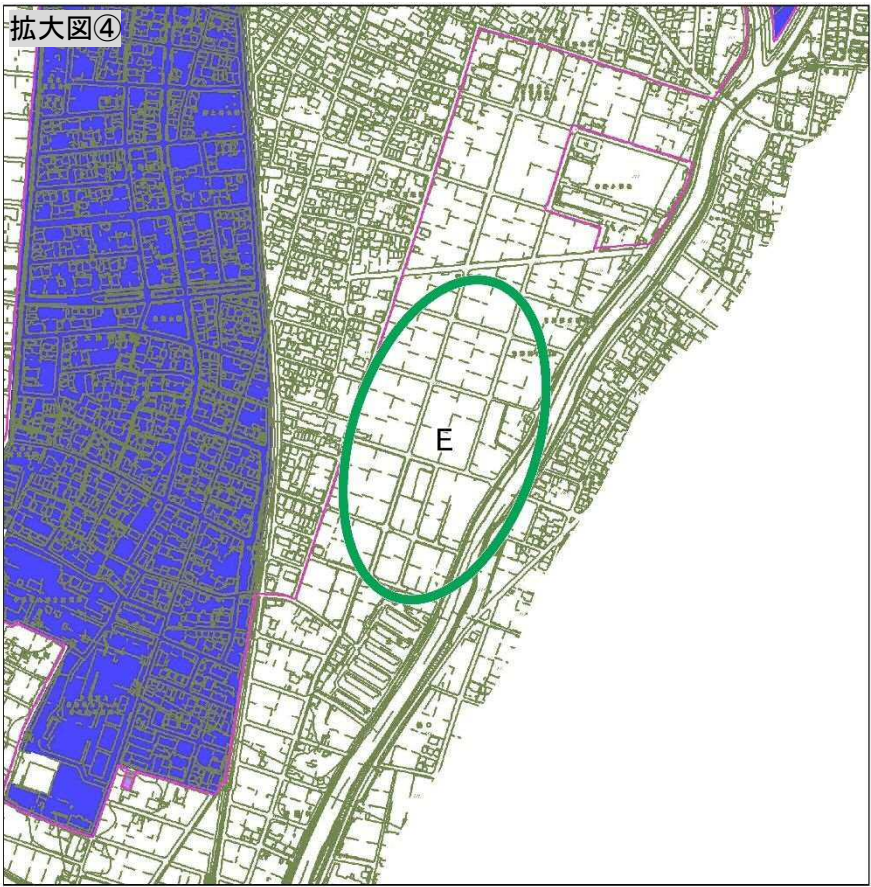
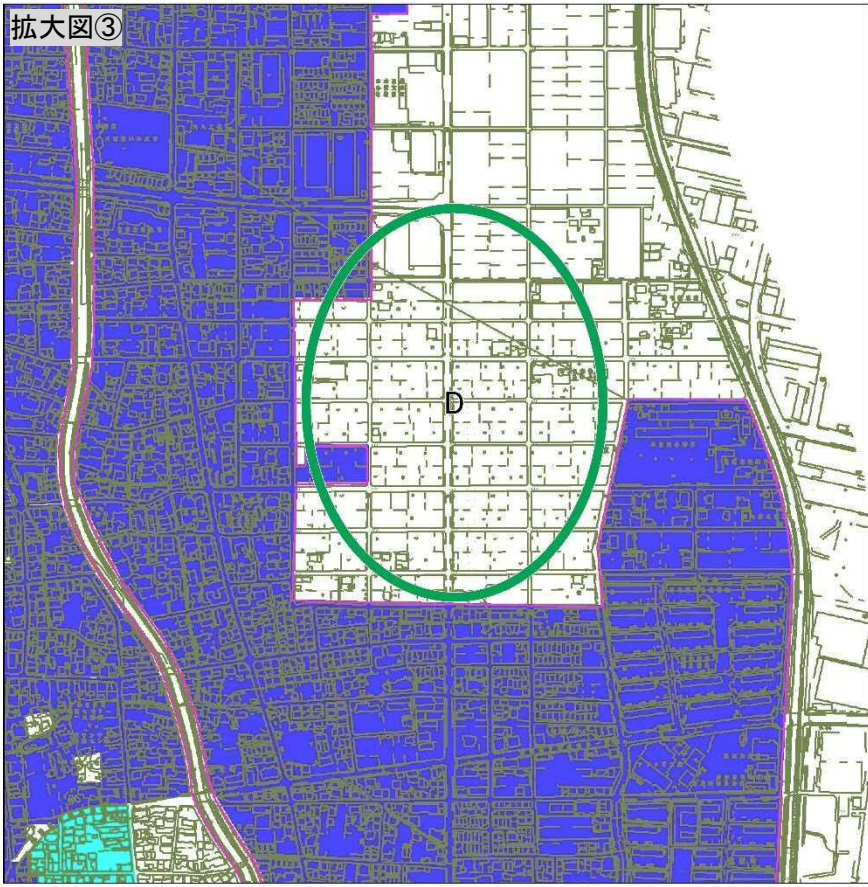
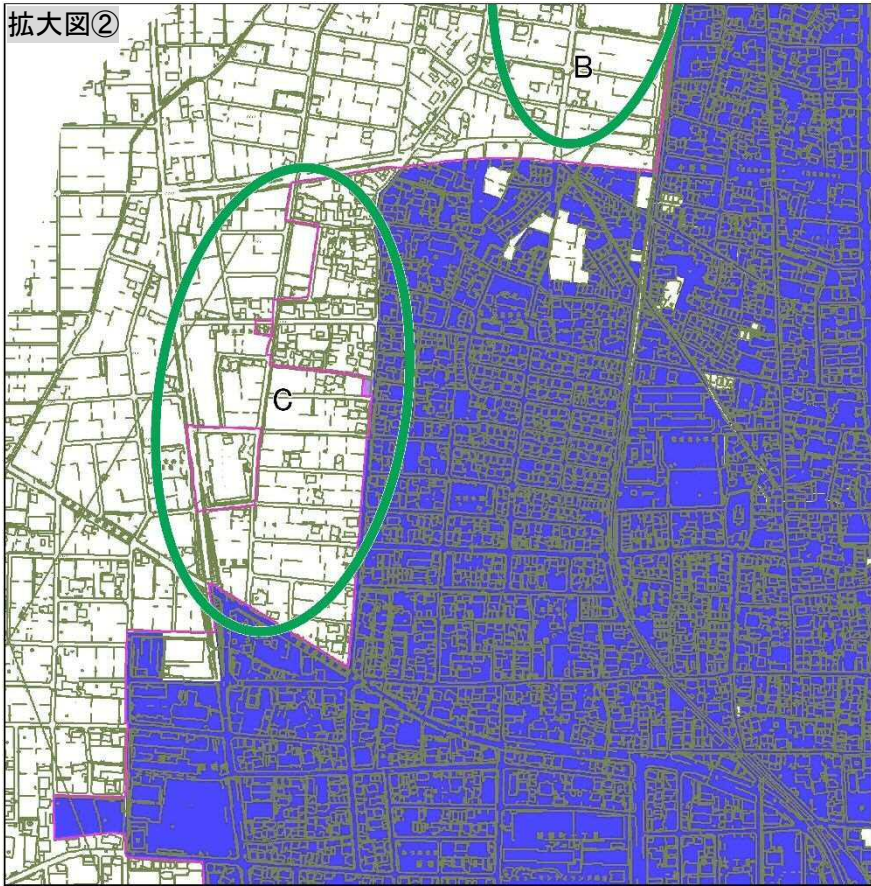
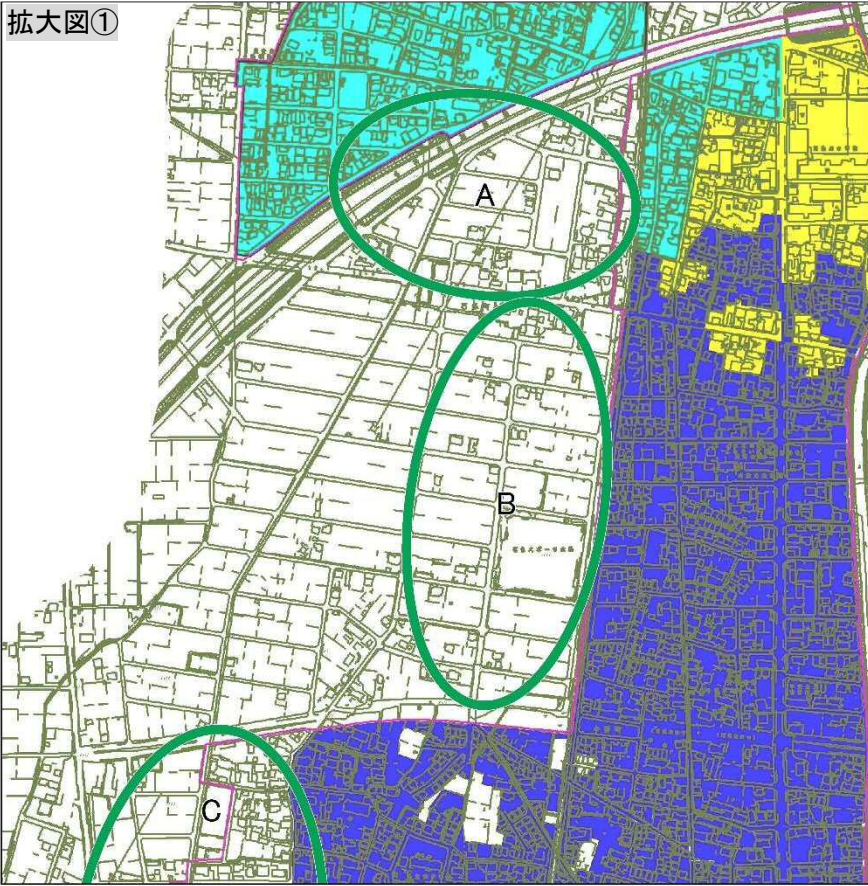
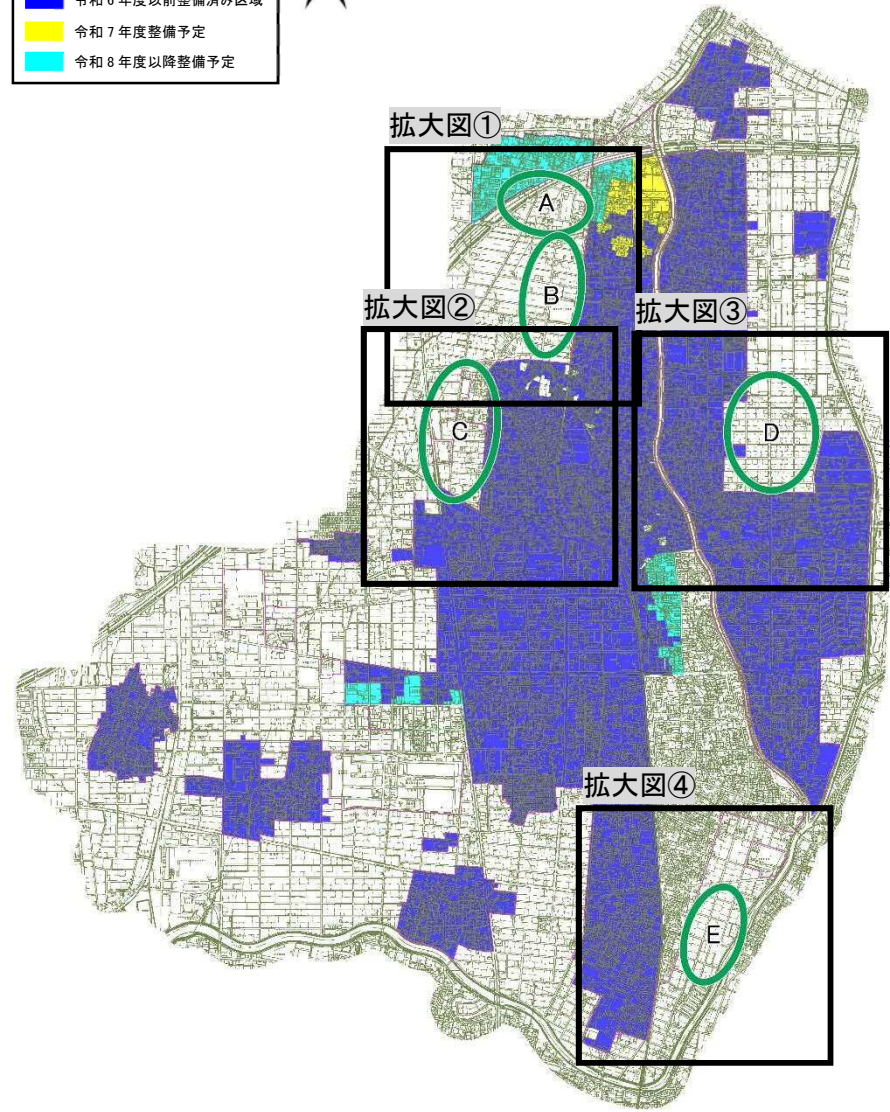
拡大候補地

全体計画区域

令和6年度以前整備済み区域

令和7年度整備予定

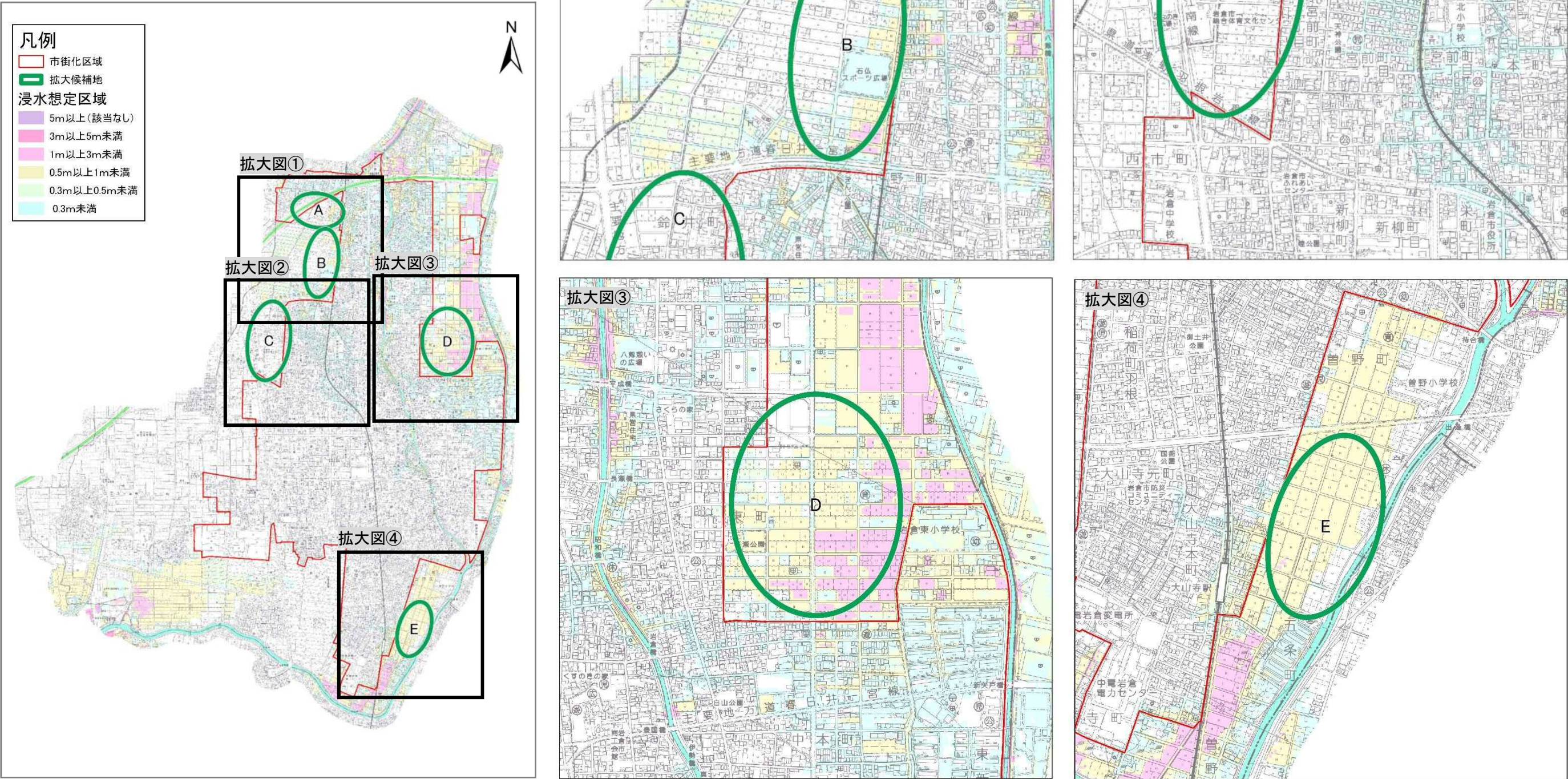
令和8年度以降整備予定



(5) 災害からの安全性

1) 洪水ハザードマップ 計画規模 (L1)

- 計画規模 (L1) の洪水が発生した際に想定される浸水深は、下記の通りである。
- 拡大候補地 A : 0.5m～1.0m
- 拡大候補地 B : 0.5m～1.0m
- 拡大候補地 C : 0m
- 拡大候補地 D : 0.5m～1.0m
- 拡大候補地 E : 1.0m～3.0m



資料：岩倉市 洪水ハザードマップ

2) 洪水ハザードマップ 想定最大規模 (L2)

・想定最大規模 (L2) の洪水が発生した際に想定される浸水深は、下記の通りである。

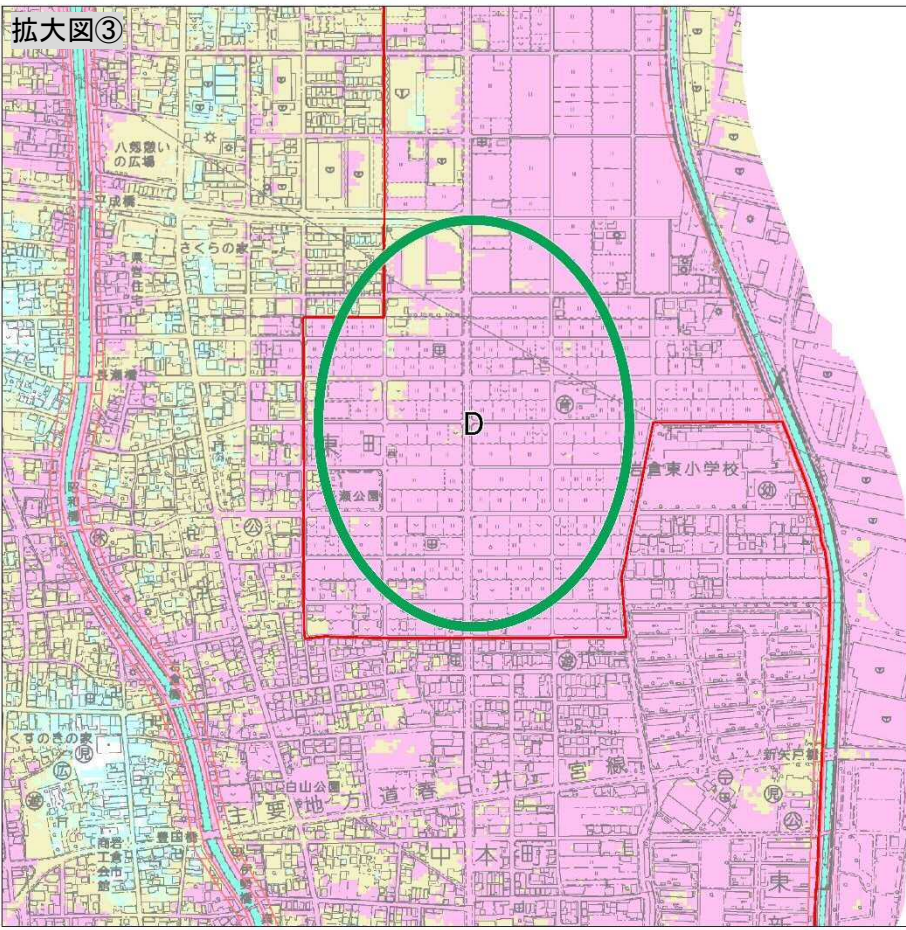
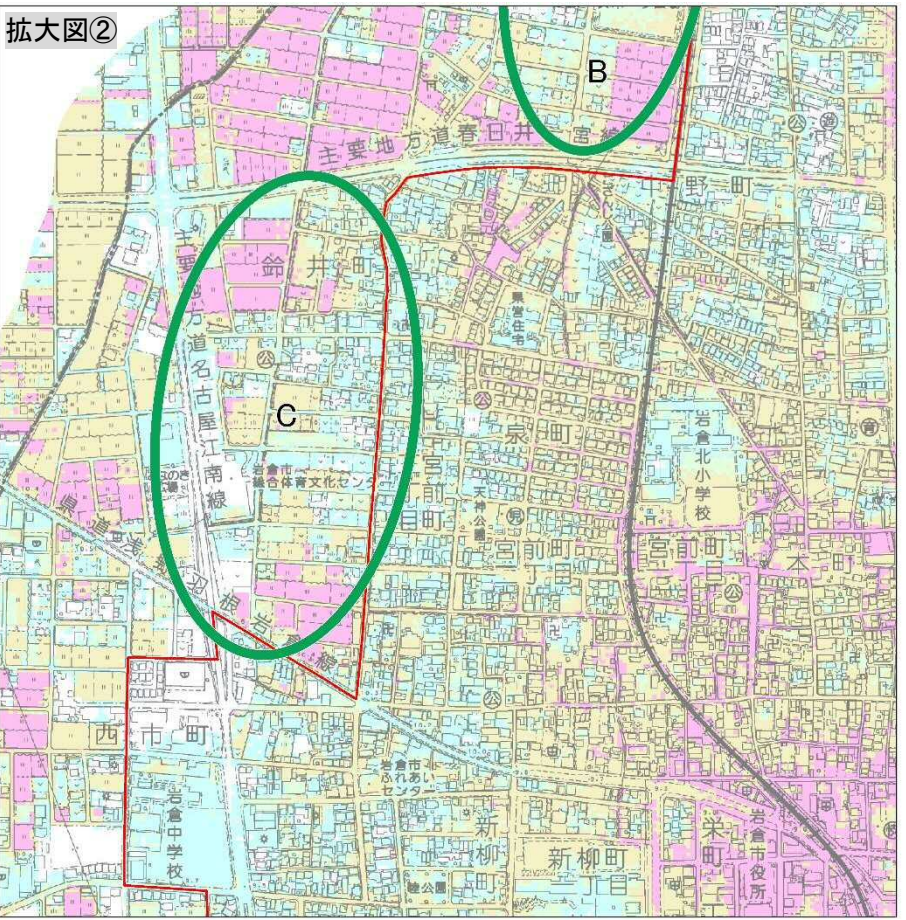
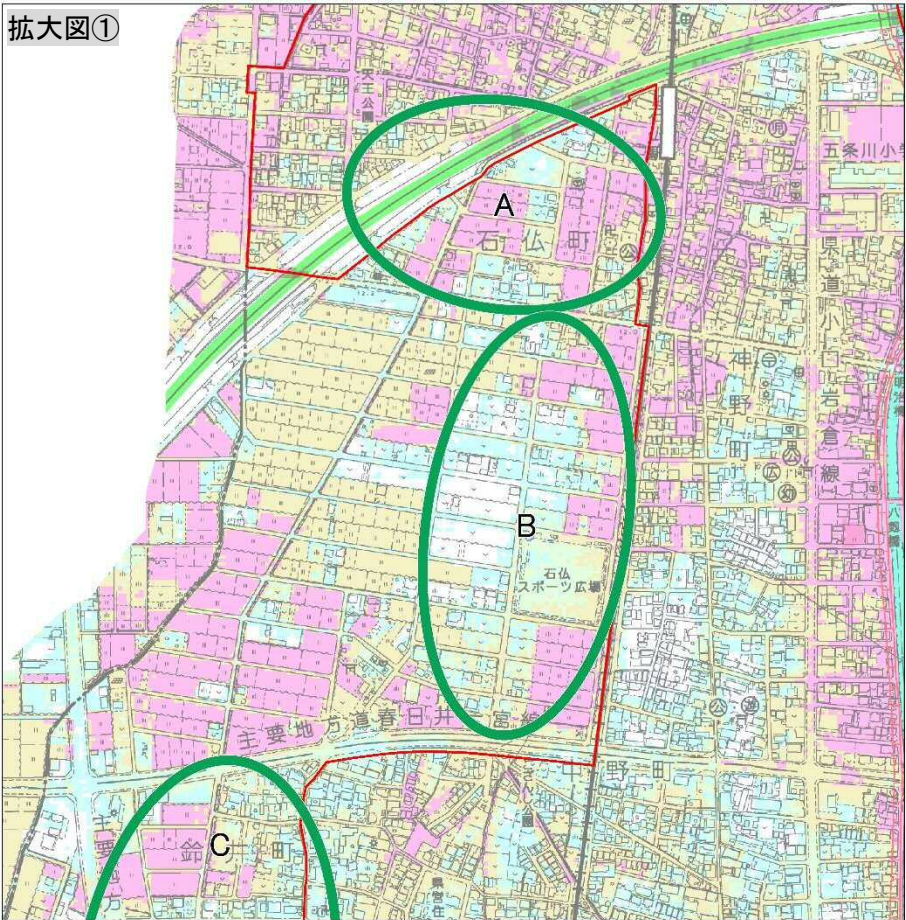
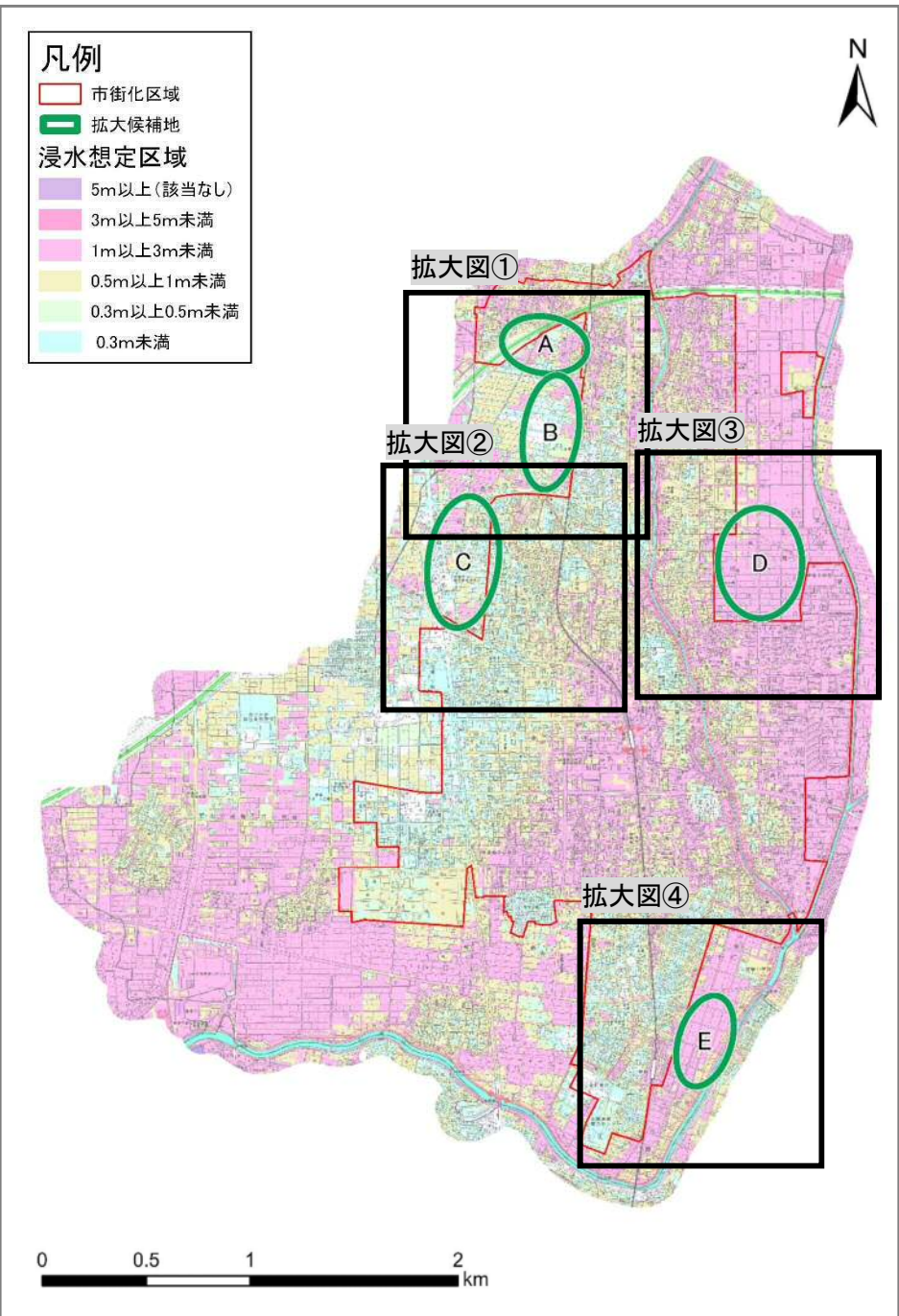
拡大候補地 A : 1.0m～3.0m

拡大候補地 B : 1.0m～3.0m

拡大候補地 C : 1.0m～3.0m

拡大候補地 D : 1.0m～3.0m

拡大候補地 E : 1.0m～3.0m



資料：岩倉市 洪水ハザードマップ

3) 内水ハザードマップ 計画規模 (L1)

・計画規模 (L1) の内水氾濫が発生した際に想定される浸水深は、下記の通りである。

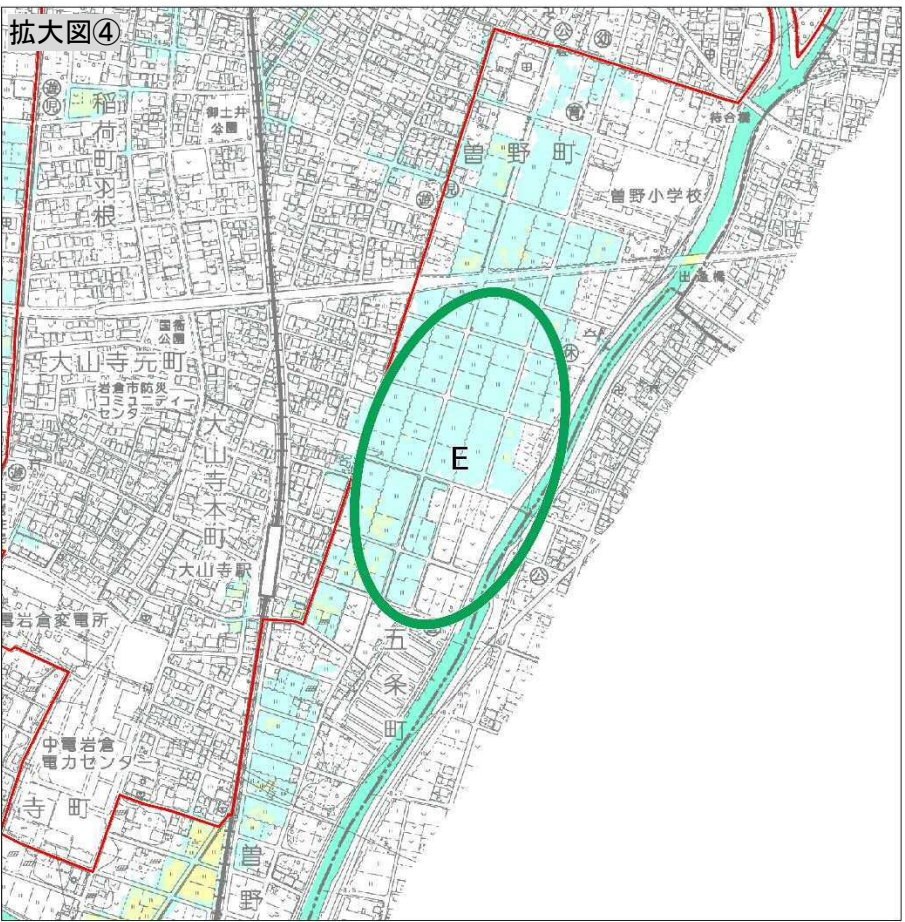
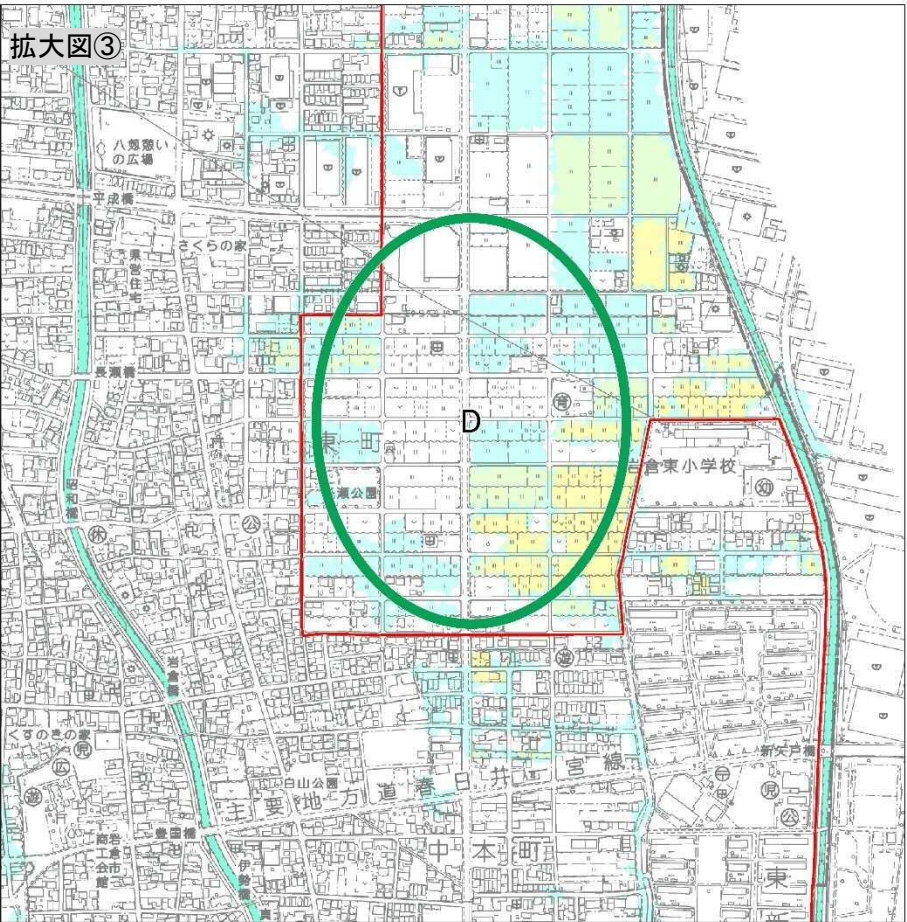
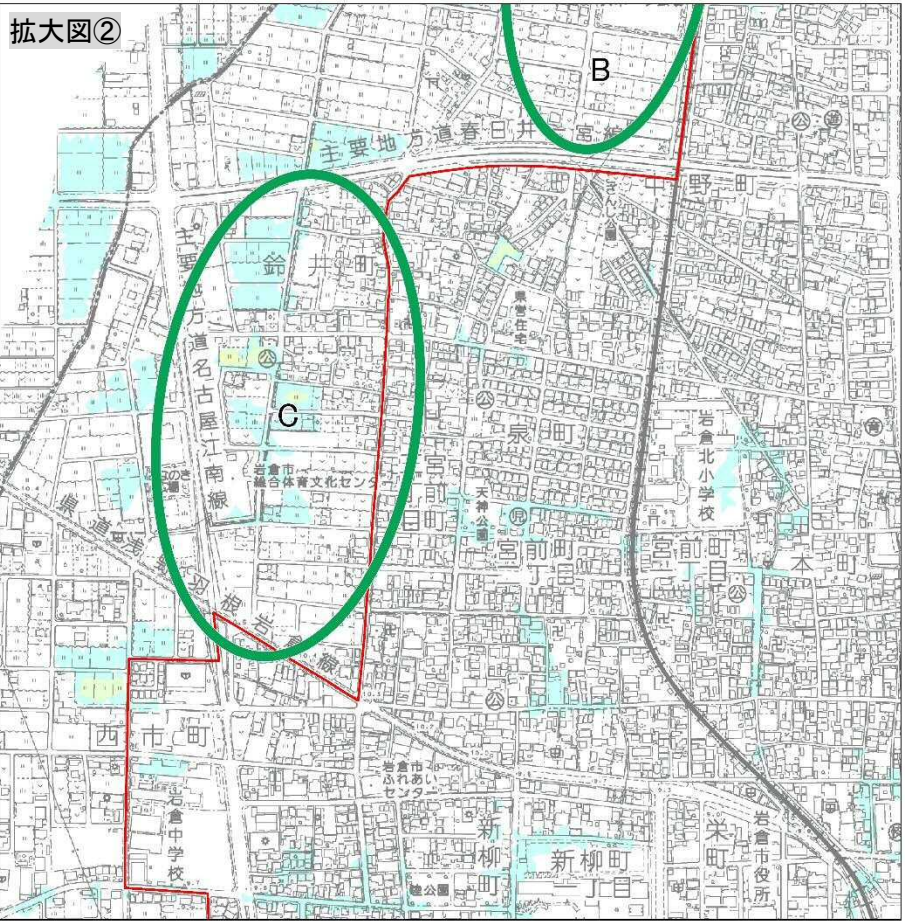
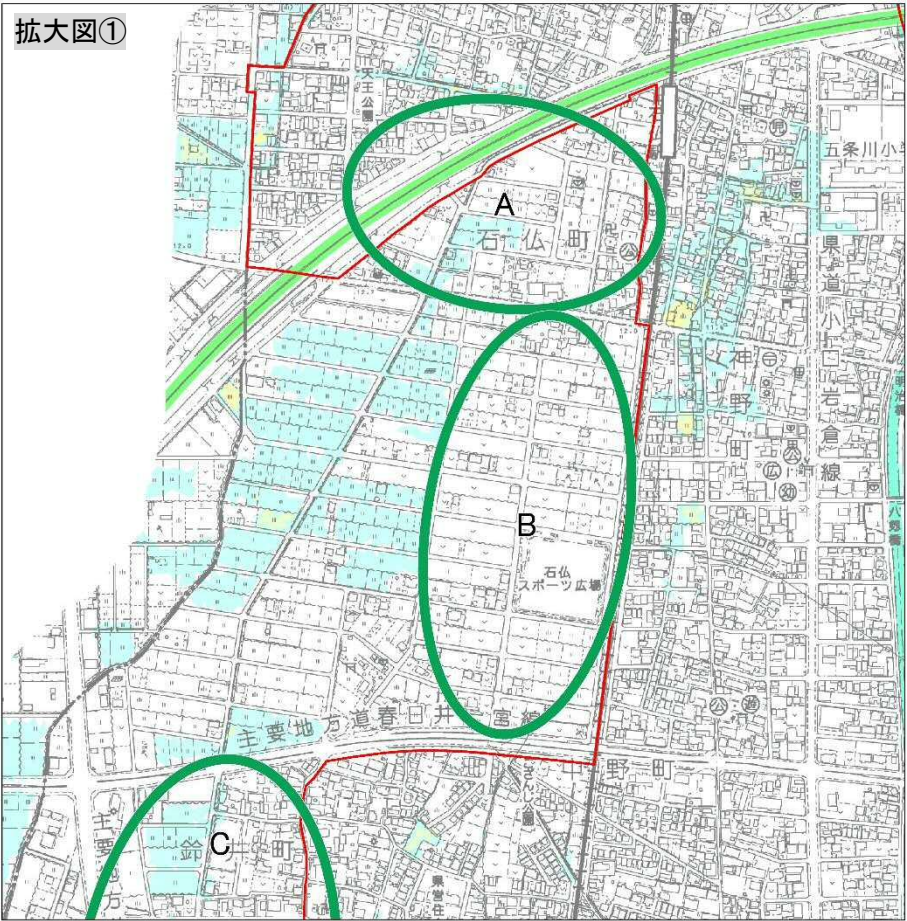
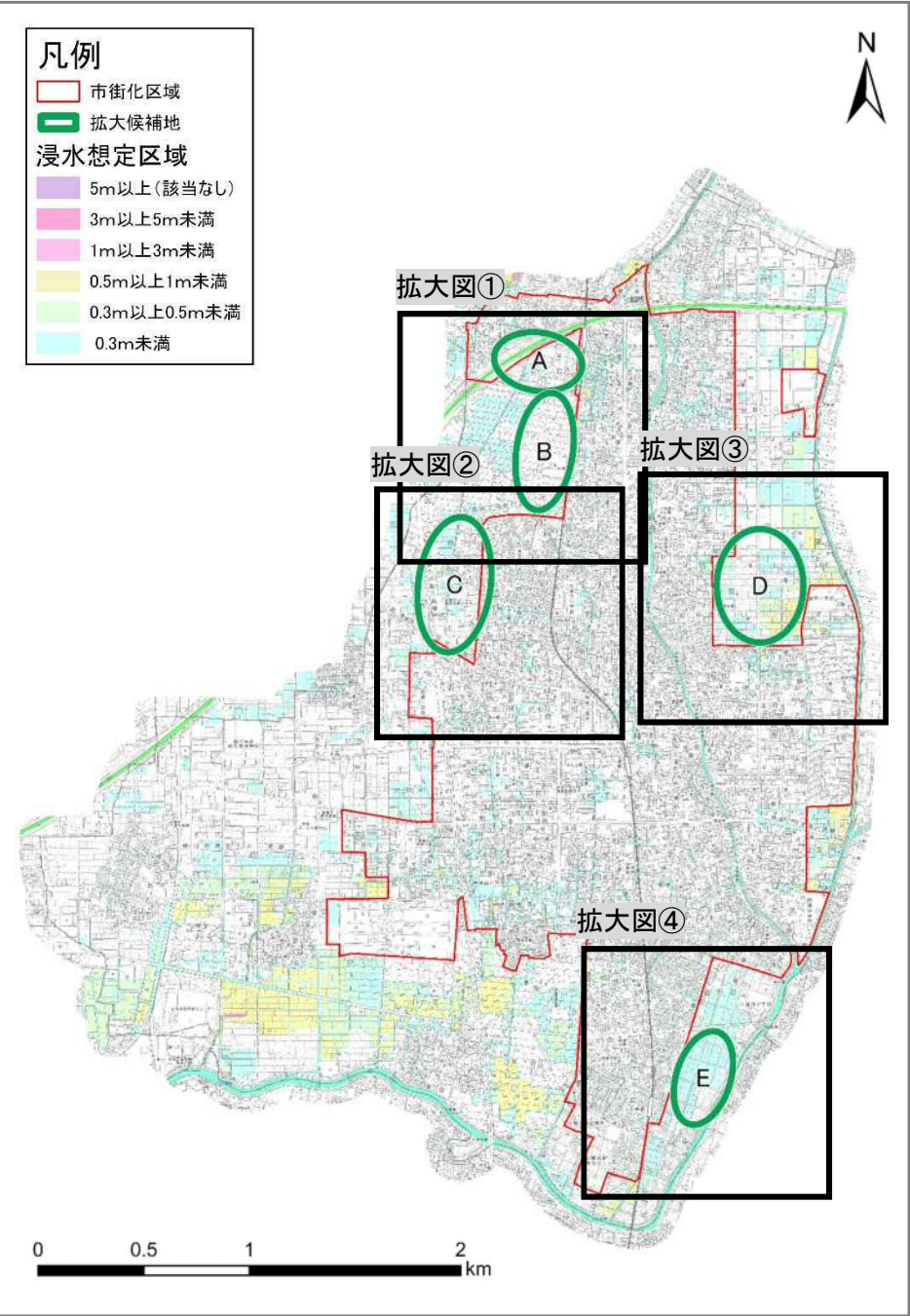
拡大候補地 A : ~0.3m

拡大候補地 B : 0m

拡大候補地 C : ~0.3m

拡大候補地 D : ~0.3m

拡大候補地 E : ~0.3m



資料：岩倉市 内水ハザードマップ

4) 内水ハザードマップ 想定最大規模 (L2)

・想定最大規模 (L2) の内水氾濫が発生した際に想定される浸水深は、下記の通りである。

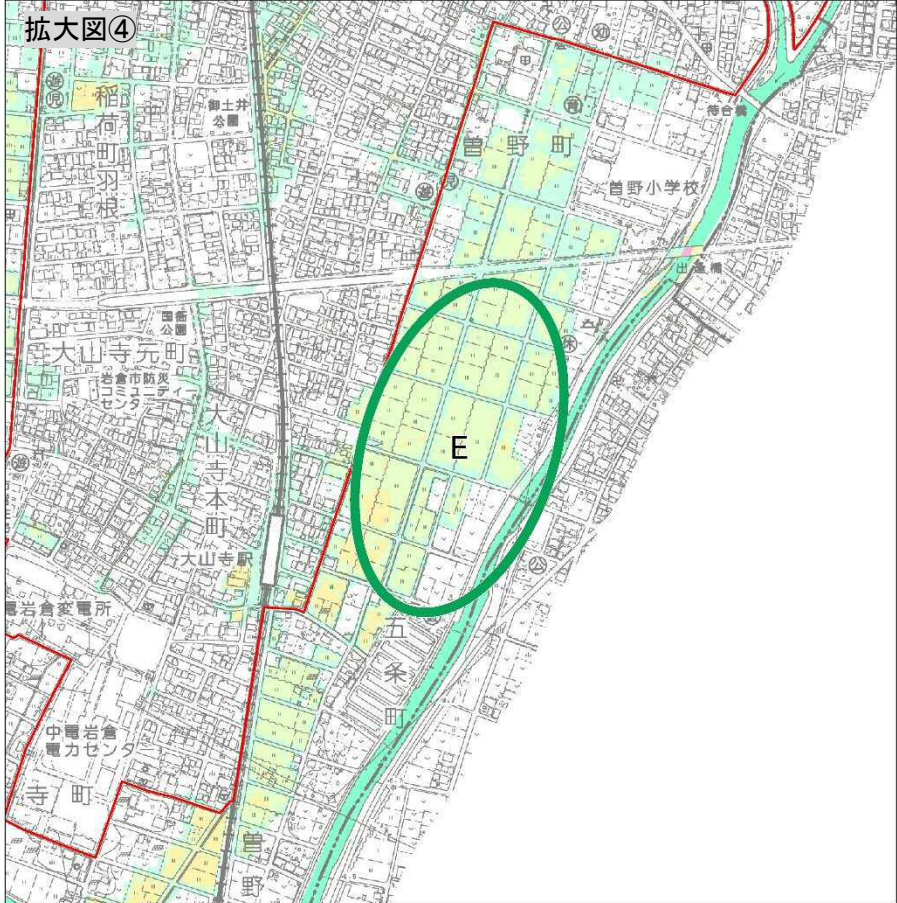
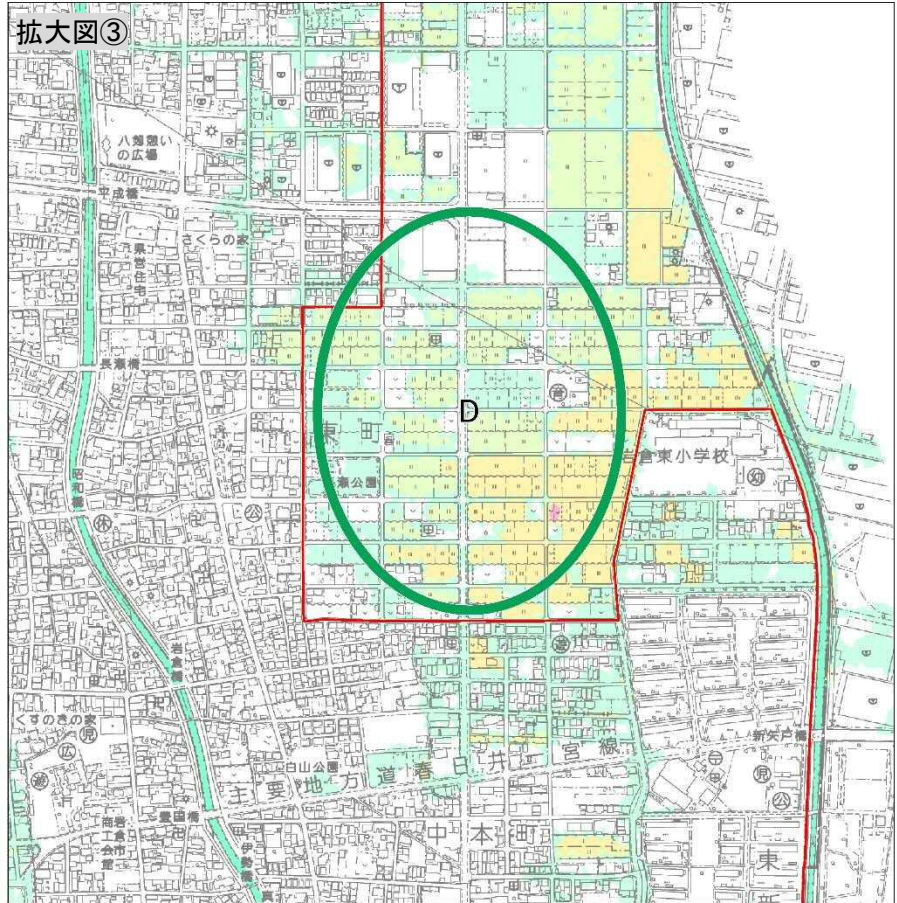
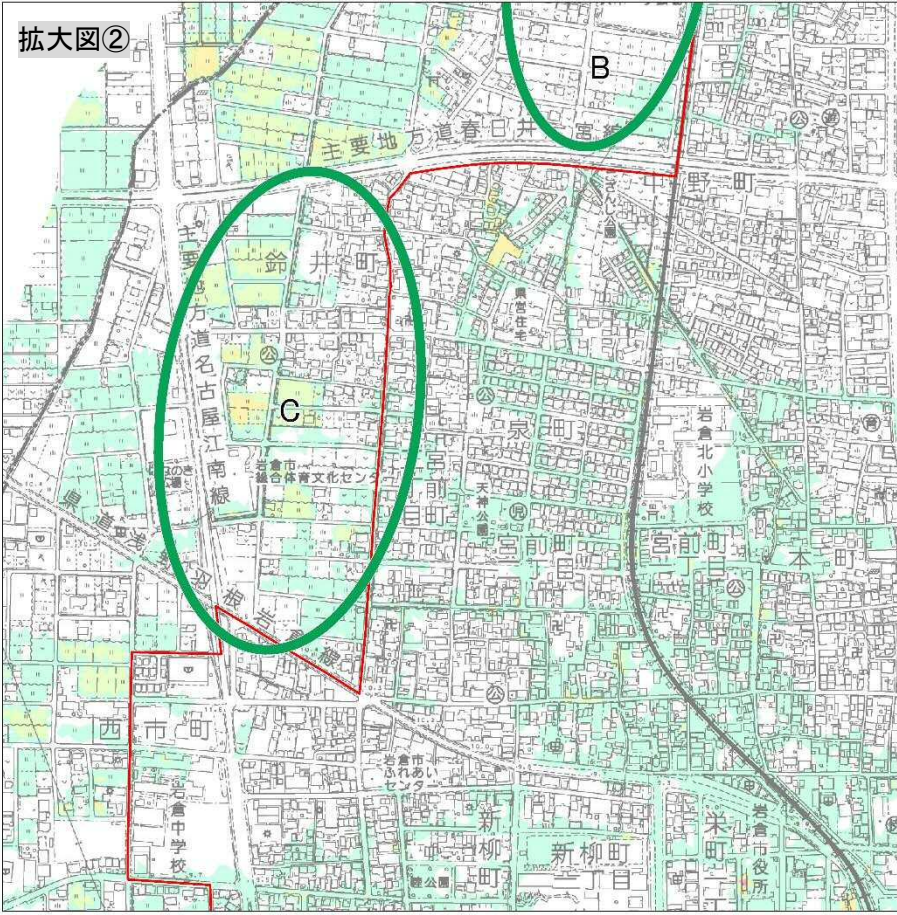
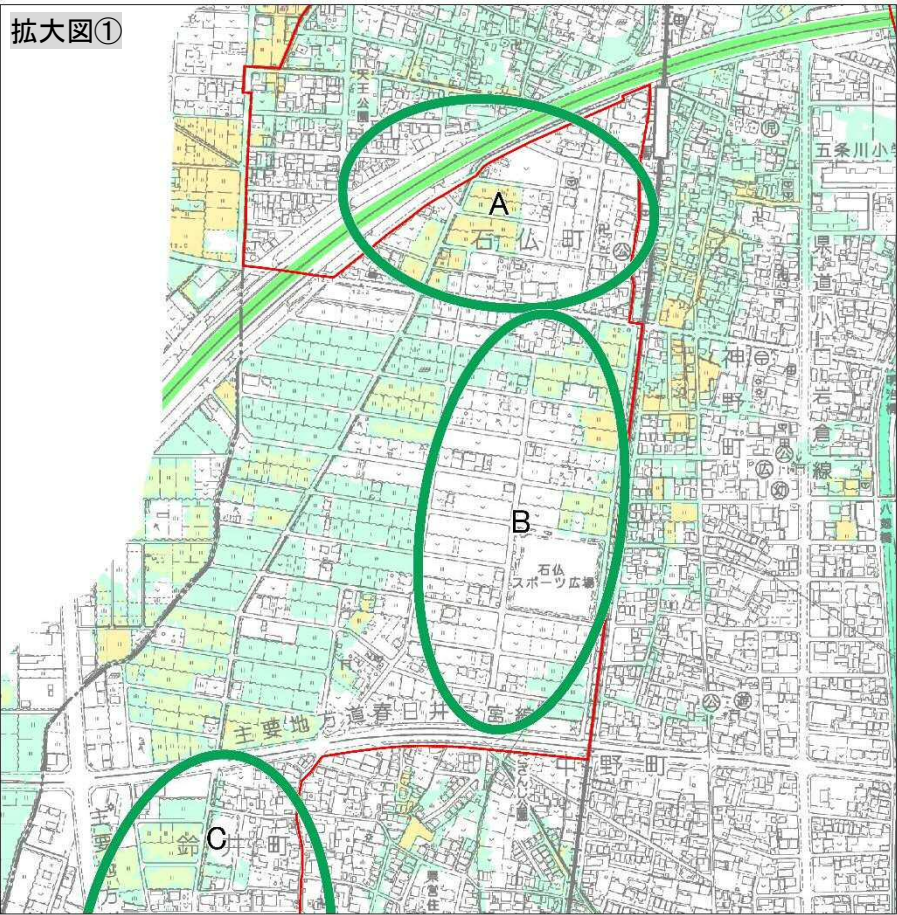
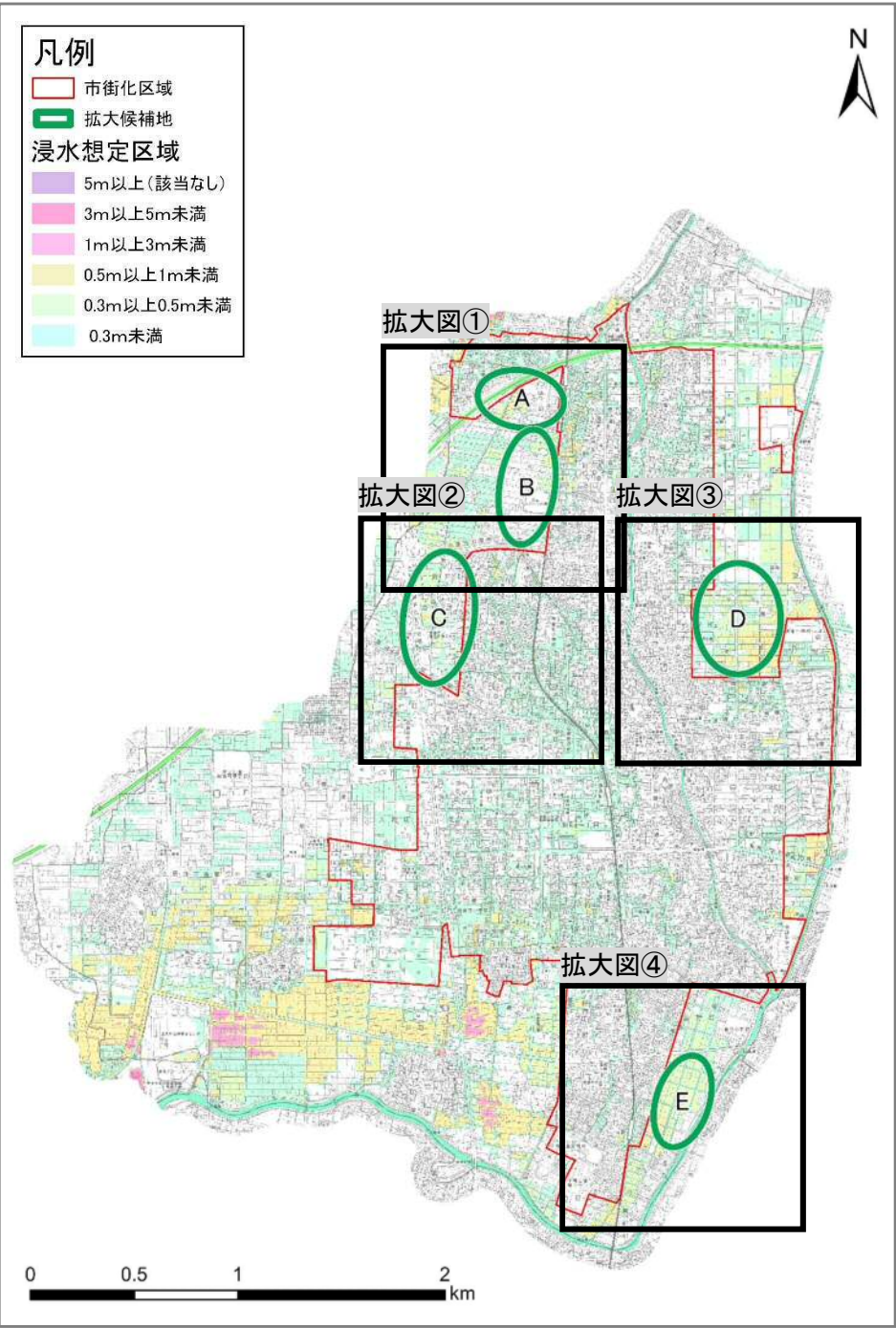
拡大候補地 A : 0.5m～0.3m

拡大候補地 B : 0m

拡大候補地 C : ～0.3m

拡大候補地 D : ～0.3m

拡大候補地 E : ～0.3m



資料：岩倉市 内水ハザードマップ